

「愛される人」・「愛される頸城中学校」をめざして

当校では8月26日（月）に2学期の始業式を行いました。2学期はさまざまな行事があり、40周年記念式典もあります。当校は、保護者や地域の皆さん等たくさんの人たちによって支えられています。そのような方たちいつまでも「愛される人」・「愛される学校」になってほしいという気持ちを込め、生徒へ次のことを話させていただきました。

3年生は、夏休みの学習会にたくさんの生徒が参加しました。先生に分からないところは質問し、たくさんの練習問題等に挑戦してくれました。体育祭の準備（パネル制作や応援等）にも一生懸命取り組んでくれました。私が出張先から学校に戻るときなど、ヘルメットをきちんとかぶり、左側を1列で自転車走行している姿を見るとうれしくなりました。これこそ学校を引っ張るリーダーだと強く感じました。

2年生は、7月29日（月）～8月2日（金）の1週間、職場体験学習を行いました。暑い中、一生懸命取り組みました。たくさんの事業所の方から生徒の頑張りや感謝の言葉等のよい報告がありました。そのようなよい報告が入るたびにうれしくなりました。たくさんの方々に生徒は支えられ、成長したと感じました。今回の職場体験学習をお忙しい中、受け入れてくださった事業所や学校、保育園等には大変お世話になりました。生徒はたくさんの人への感謝の気持ちを忘れずに今回の体験をこれからの生活に生かして行ってほしいと思います。

1年生にとっては、中学校に入学して最初の夏休みでした。例年と変わらず暑い日が続きましたが、部活動や体育祭の準備にも一生懸命取り組んでくれました。冷房の入った涼しい部屋でテレビを見たり、ゲームをしたりしたいと思ったことでしょうか、暑い中、へこたれずに自分のやるべき活動に熱心に取り組む、頑張ってくれた皆さんには感心させられました。

8月4日（日）に行われました第41回頸城の祭典では、たくさんの生徒が自主的にボランティア活動に取り組んでくれました。また、美しい音色を奏でてくれた吹奏楽部、よさこいを見事に演じてくれた「よさこい部」とそれに加わってくれた生徒。地域の皆さんが大変感謝しておられました。

さて、いよいよ今日から2学期です。あの暑い夏を頑張った皆さんです。2学期も様々な面で成長してくれることと思っています。今学期、皆さんにお願いしたいことがあります。どうか皆さん一人ひとりが「愛される人」になり、その一人ひとりが力を結集し、「愛される頸城中学校」を作ってほしいのです。

愛される人とは「他をおもいやり、他のために力を尽くせる人です。また、凡事徹底（当たり前のこと、当たり前でできる人）です。とかく、私たちは自分のことだけを考えがちです。しかし、それだけではなく、「どうすれば他のためになるか」「どうすれば他がうれしく思うか」などを考えた言動をしてほしいのです。また、今やるべきことをみんなで力を合わせながら確実にやり遂げることが重要です。そのような力を結集すれば、頸城中学校は40周年を飾るべく素晴らしい学校になっていくのでは、ないかと思っています。



創立 40 周年記念体育祭

「あきらめずに駆け抜けろ～協力の果てに得られるもの～」

突き抜ける青空の下、創立 40 周年記念体育祭が 9 月 7 日（土）に開催されました。熱中症対策として、急遽、午前と午後、途中に 1 回ずつの一斉休憩を入れての実施となりました。プログラムの変更も懸念されましたが、選手・役員の生徒の動きが抜群に良く、予定していた時間より 30 分も早く午前の部を終え、ゆっくり昼食休憩をとることができました。その後、大きく体調を崩す生徒もなく、無事にすべてのプログラムを終えることができました。

「あきらめずに駆け抜けろ～協力の果てに得られるもの～」これは今年度の体育祭スローガンです。このスローガンを創り上げた生徒会リーダー達は、体育祭の価値が「勝ち負け」だけでないことを理解しています。そして、体育祭をとおして「生徒一人ひとりが何かを得てほしい」との願いを抱いています。生徒実行委員長や副実行委員長のあいさつにも、その想いがにじみ出ていました。

一人ひとりが得たものに多少の差はあるかもしれませんが、しかし、間違いなく何かを感じ仲間と共有できたことでしょう。爽快感と脱力感、流れる汗、喉と足の痛み、ミストの冷たさ、笑顔と涙、励まし慰め讃え合ったこと、リーダーの嗚咽する姿…。何年か後、「あの日、あっちかったよねえ～」と笑いながら話すその日に、思い出してくれると嬉しいです。最高に暑く、最高に熱かった、創立 40 周年記念体育祭のことを。



絆プロジェクトで創った「40」の人文字
体育祭後、全校生徒と教職員で創った人文字をドローンで撮影しました。ものすごい勢いで空中を舞い上がったり、ピタッと静止したりするドローンにみんなビックリしました。

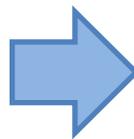
PTA 親子奉仕活動 ～早朝からありがとうございました～

PTA 厚生部主催による、校地の美化活動が行われました。生徒・保護者総勢 251 名が持ち場を分担し、グラウンドや学級花壇の除草、物置の整理、生徒玄関前側溝清掃等を行いました。

みんなで力を合わせて作業した結果、あっという間にきれいになりました。7 日（土）の体育祭成功を支えてくださった生徒・保護者の皆さん、ありがとうございました。



除草前 これは手強そうです…



すっかりきれいになりました

美術部が地域に貢献 ～プランターロードのPR看板制作～

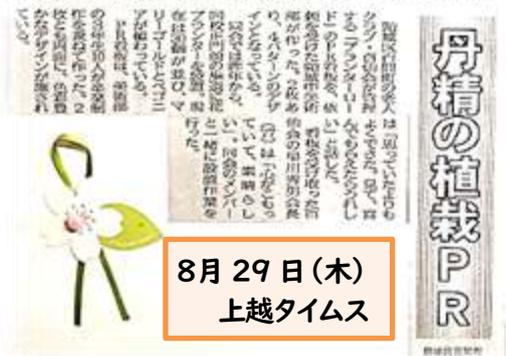
「町内のプランターロードに立てる看板を中学生から制作してもらえないですか?」と、百間町町内会様からご依頼をいただいたのは今年の5月でした。あれから3か月余。ついに看板が完成し、先月末に看板の贈呈式が執り行われました。

看板を制作したのは美術部の3年生です。4チームに分かれ、下書きから色付けまで心を込めて丁寧に取り組みました。作品のクオリティーの高さに、町内会の皆さんも驚かれた様子でした。

贈呈式では、来校された町内会の皆さんから多くのお褒めの言葉、感謝の言葉をいただきました。制作に携わった美術部3年生も、きっと今までの苦勞が報われたことでしょう。3年生も、町内会の皆さんも、みんな笑顔でした。看板は中学校前道路に設置されています。是非ご覧ください。



頸城中美術部が看板制作 老人クラブ百仙会



8月29日(木)
上越タイムス

創立40周年記念合唱曲が完成

40周年記念事業の一環として進行中の、Rafveryさんと生徒による記念合唱制作。先日、ついに完成したばかりの曲がRafveryさんから学校に届きました。早速25日(水)には生徒集会でビデオメッセージと記念合唱が全校生徒に披露する予定です。

今後、10月12日(土)の記念式典に向け、学級・学年での練習を重ね、40周年への私たちの想いをしっかり紡いでいきたいです。



Rafveryさんから届いたビデオメッセージから

七色模様 ～頸城中創立40周年記念合唱～

作曲 Rafvery.Taxi 編曲 Taxi 作詞 Rafvery with 頸城中生徒

閉じて 見てみよう
広がる世界 草木の色かさなり
記憶が よみがえる

思い返せば (思い返せば)
君が隣 いてくれては
曇り空を 除いて くれたね

自分を信じれない 陰日もあり
夢に 背を向ける時もあり
そんな日は 今日の「日々」思い出して
明日の光への 乗け橋

この場所で過ごしてきた日々
全て 鮮やか 七色模様
日差しが交わり輝き増し
僕らの道を照らし出す
きっときっと 大丈夫

少し 先を 見てみよう
輝く未来 グランド 教室の思い出
どれもが 繋がる

思い返せば
隣に いてくれては
涙 拭う訳 そっと 作ってくれたね

目に見える事から 逃げたくなる
悔しい気持ちをする日もある
そんな日は 今日の「日々」思い出して
描いた夢への 乗け橋

この場所で過ごしてきた日々
全て 鮮やか 七色模様
日差しが交わり輝き増し
僕らの道を照らし出す
きっときっと 大丈夫

強がりあった日
曇った日
怒られた日
青春の日々
記憶が澄んだ 思い出となり
僕らは 歩き出す

この場所で過ごしてきた日々
全て 鮮やか 七色模様
日差しが交わり輝き増し
僕らの道を照らし出す

きっと きっと 大丈夫
きっと きっと 大丈夫

頸城中生徒の活躍

～新人陸上大会～

9/13 新人陸上大会

<2年女子 100m>	8位	植田麻央さん	(13秒84)
<2年女子 200m>	5位	植田麻央さん	(28秒41)
<1年男子 100m>	3位	金子垂羽さん	(12秒65)
<1年男子 200m>	2位	金子垂羽さん	(25秒89)
<1年男子走幅跳>	6位	池田翔太さん	(4m53)
<1年男子走高跳>	6位	太田吏基さん	(1m40)
	7位	大島 蓮さん	(1m40)

競技だけでなく、補助役員としてハードルの設置や片付け等にも積極的に取り組んでいる様子が見られました。また仲間の応援をみんなで精一杯行い「のどが痛い」との訴えが連続するほどでした。これからの陸上部員の成長が本当に楽しみです。

創立 40 周年記念体育祭フォトメモリーズ

